

## 被災者支援体制の強化特別委員会 会議録（要点筆記）

日時：令和7年11月25日（火）

午後1時30分

場所：議会会議室

### ○委員長（坂井美穂）

ただいまから、被災者支援体制の強化特別委員会を開催します。協議題1「調査事項について」を議題とし、オンライン勉強会の報告および県外視察について行います。先日の株式会社 Bot Express の勉強会を受け、委員の皆様から事前に提出いただいた報告書に基づき、ご意見を伺います。掲載順に報告をお願いします。

### ○有留麻由委員

「スマホ市役所」の機能は防災専用ではなく、あらゆる行政システムに利用できる点に特徴があります。導入となれば全庁的な検討が必要になるでしょう。災害時にはデータ処理のための職員体制や、電源喪失・水没を想定したアナログなりレーションの並行も不可欠です。常滑市の事例も見ましたが、LINE のトーク画面で会話形式に必要な情報が出てくるのは非常に使い勝手が良いと感じました。ただ、全庁での予算規模などは慎重な議論が必要だと考えます。

### ○國弘秀之委員

LINE の活用は全国的な流れであり、高齢者の方でも孫との連絡等で使い慣れているため、自然な流れかなと感じます。過去の視察では独自アプリを開発した自治体もありましたが、登録が進まない現状もありました。汎用性の面で LINE は有効です。通信途絶の懸念についても、今後は衛星通信などの技術革新でカバーされていくのではないのでしょうか。

### ○鈴木英華委員

大変便利なものだと感じましたが、マイナンバーを使用する際の個人情報の取り扱いについては慎重に考える必要があります。一方で、職員が必要な情報を即座に把握できるのは対応の質を高める大きなメリットがあると感じました。

### ○田中嵩久委員

皆さんおっしゃる通りですが、簡単に言うと、導入したらいいと思います。以上です。

### ○加藤美幸委員

避難所運営は地域が主体となっています。市役所だけが先進的に進めるのではなく、導入にあたっては地域や民生委員との連携をどう図るかが重要になるとおもいま

す。

○鈴木幸彦委員

行政サービスとして職員の負担軽減になる点は非常に良いですが、有事の際にうまく活用できるかという心配はあります。日頃から多方面で使い慣れておくことが重要ですし、近隣市町も導入していることから、半田市も遅れないように取り組むべきだと考えます。

○沢田清委員

結論から言うと使ってみる価値はあると感じました。避難所外避難者の把握機能や、避難所受付時間の93%削減といった実績は大きなメリットです。また、他の自治体の優れた機能を参考にして取り入れられるというのは無駄がなく評価できる点です。

○副委員長（渡邊昭司）

導入できれば良いとは思いますが、税務課で新しい仕組みを導入したばかりですので、その様子を見ながら、どこかの近い段階でまた仕組みを入れ替えたり新しいのを入れるような検討があるときにはこういったことを考えれば良いと思います。

○委員長（坂井美穂）

私からは、避難所のチェックイン機能や緊急物資の配布について、日常（20歳の集い等）から使い慣れることができる点に注目しています。特に在宅避難者への情報提供や、保健師による要援護者の個別把握・双方向のやり取りが素早く行える点は非常に価値があります。月額15万円程度という費用も、全庁で使えることを考えればリーズナブルです。

続いて、県外視察について行います。神戸市・尼崎市への質問事項案を作成しましたが、内容やボリュームについてご意見はありますか。

○沢田清委員

聞きたいことは山ほどありますが、1時間半という枠に対して量的には少し多い気がします。

○加藤美幸委員

この質問事項は当局側とも調整されているのでしょうか。専門分野の方が全員行けるわけではないので、現場の心配事も含めてしっかり聞いてきていただきたいです。

○副委員長（渡邊昭司）

1時間半の枠で説明と質疑を行うと時間が足りなくなる恐れがあります。事前に書面で回答をいただけるよう早めに質問を送るなどの配慮が必要ではないでしょうか。

○福祉部長（小林徹）

同行させていただきますが、内容が盛りだくさんですので、メインの項目を絞り、時間に余裕があれば次の項目へ進むという形の時間配分で調整いただくと助かります。また説明を聞く中で、我々の知らない部分が出てきた際の説明時間も考慮すべきです。

○委員長（坂井美穂）

承知いたしました。質問の優先順位を整理し、先方と調整します。次に視察行程について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

1日目は10時過ぎの新幹線で神戸に向かい、午後1時から神戸市役所の視察、その後自由視察となります。2日目は朝に尼崎へ移動し、午前中に尼崎市役所の視察、昼食後に名古屋に帰る流れとなります。

○副委員長（渡邊昭司）

先日提案した「人と防災未来センター」の見学について、公費での支出について議長に相談したところ、今回の特別委員会のテーマとの関連性が薄いとの判断で許可は得られませんでした。したがって、希望される方は視察後の自由時間に任意・自費で行くという形に切り替えたいと思います。

○委員長（坂井美穂）

前回の委員会で一度決定したことではありますが、費用の自己負担という条件が変わったため、皆様にお諮りしたいと思います。

○沢田清委員

実費で行くという形にして、工程表からは外して任意参加とするのが、まとまりが良いのではないのでしょうか。

○委員長（坂井美穂）

協議の結果、今回は「人と防災未来センター」への訪問は任意・自費とし、行程表からは削除します。入館希望の方は後ほど把握させていただきます。次に次回の日程ですが、12月17日（水）の全員協議会および政務活動費管理委員会の終了後を予定しています。岡崎市の事前勉強会として菅野拓氏の動画視聴などを行う予定です。また、冒頭には東日本大震災の記録映像も視聴したいと思います。

○防災監（出口久浩）

お詫びと訂正です。以前、税務課のシステムで「被災者台帳（生活再建支援ナビ）」は全員の入力が可能と説明しましたが、実際には罹災証明発行者のみが対象であることが判明いたしました。訂正させていただきます。

○委員長（坂井美穂）

承知いたしました。その点も含め、岡崎市ではどのような運用をしているか学んでいければと思います。以上で特別委員会を終わります。

散会 午後2時13分